

首里金城町とは

琉球王国の時代に造られた石畳の道

沖縄県那覇市の東部に位置する、首里金城町(しゅりきんじょうちょう)。町内には世界遺産に登録されている首里城があることから、多くの観光客が訪れるエリアでもあります。その一角にあるのが、琉球王国時代に造られた石畳道。琉球石灰岩の平石をぎっしりと敷き詰めた幅約4mの坂道は、16世紀に首里城から那覇港や沖縄本島南部へ通じる主要道路として整備されたもので、「真珠道(まだまみち)」と呼ばれていました。しかしそのほとんどは戦争中に失われ、現存するのは300mほど。

道の両側には赤瓦屋根の風情ある民家が軒を連ね、歴史情緒あふれる風景に出会えることから、「日本の道100選」に選定されています。



アクセス：ゆいレール「首里駅」より、徒歩約12分
(社) 那覇市観光協会
<http://www.naha-navi.or.jp/kinjolshiTatami.html>